



The service club to the YMCA  
**THE Y'S MEN'S CLUB OF**  
**TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ  
 〒 662-0977 西宮市神楽町  
 5-23  
 西宮 YMCA 内  
 Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2022年10月会報 第406号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP)

K.C. Samuel(インド)

主 題 「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」

Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT

スローガン 「自己を超えて、変化を起こそう」 BEYOND SELF and BE THE CHANGE

アジア太平洋地域会長(AP) Shen Chi-Ming (台湾)

主 題 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 Elegantly Change with New Era

スローガン 「今すぐ実行を」 Doing It Right Now

西日本区理事(RD) 田上正(熊本むさし)

主 題 「原点を知り将来に生かす」 Know the origin and utilize it in the future!

スローガン 「立ち上がれワイズモットーと共に！」Stand up Y's Men with our Motto!

六甲部長 若林成幸(宝塚)

主 題 困難な時にこそYMCAと共に進もう

宝塚クラブ会長 小林康男

主 題 みんなでつなごう心の輪 笑顔で健康 笑顔で幸福

今月のテーマ :BF

BF(ビルディングフェロウシップ)の意味を理解し、国際交流メンバーとして、この基金の充実と活用に貢献しましょう。古切手を集め、皆で一緒に作業して交流を深めましょう。

交際・交流事業主任 小田 哲也 (福岡中央クラブ)

2022年10月例会

日 時 : 2022年10月12日(水)18:30

場 所 : 宝塚市立西公民館セミナー室

会 費 : 1500 円

ドライバー 鯖尻佳子 武田寿子

開会点鐘 小林康男会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読 福家清美

祈 禱 若林成幸

ゲスト・ビジター紹介 会 長

会 食 有

お 話 「チェアエクササイズ」

藪田 恵 (やぶた めぐみ)

各委員会報告

YMCA報告

誕生日のお祝い 会 長

ニコニコファンド

閉会点鐘 小林康男会長

2022~2023 役員	会長	小林康男
	副会長	郡家 学
9 月 実 績	書記	武田寿子
	会計	郡家 学
	会計監査	吉田 明 加藤光信
	担当主事	橋本 唯
	メネット連絡	小林貴美子
	直前会長	福田宏子
	10月 誕生日	喜多邦子(21)
9 月 実 績	例会出席者数	21名(Zoom4名)
	在籍会員数	20名
	出席会員数	12名(Zoom1名)
	出席率	60%
	メイクアップ(内数)	0名
	メネット・コメント・孫メット	2名(Zoom名)
	ゲスト・ビジター	5名(Zoom3名)
9 月 実 績	例会充足率	105%
	アソシエイト会員	2名(Zoom名)
	ここにこBOX	4,000円
	累 計	13,200円
	ファンド(豚 肉,他)円	0
	累 計	20,000円
	(真菰茶)	10,500円
累 計	22,500円	
ファンド合計	55,700円	

## 聖 句

「涙と共に種を蒔く人は／喜びの歌と共に刈り入れる。種の袋を背負い、泣きながら  
出て行った人は／束ねた穂を背負い／喜びの歌をうたいながら帰ってくる。」

旧約聖書・詩編126編5-6節

## 随 想

詩編の中でも有名な詩です。

当時、種蒔きの多くは寒風吹き荒ぶ冬に行われました。農家の人々は、重い腰をあげて  
出て行きました。しかし、一番つらい季節に一番つらい仕事をした人だけが収穫の喜びを  
味わうことができるのだ。そういう詩です。

涙と共に種を蒔いている時、どれだけの人が喜びの収穫を見ているでしょう。  
泣きながら出て行ったどれだけの人が、束ねた穂を背負って喜び帰る望みの光を  
見ているでしょう。

問題を背負って歩く時、先が見えません。問題が解決した時の喜びなど考えられない  
からです。だから、担い続けるしんどさに耐えかねて楽な道、広い門、苦しみを負わなくても  
良い場へと逃れてゆくような向きが私たちの人生においても起こります。

しかし、詩人は涸れたところ、乾ききった地、荒廃した場を新しくさせるのは神様であると  
信じています。

荒れ野に水を流し、花を咲かせるのは神様である。涙を涙のままにさせないのは神様である。

涙のなかに希望の喜びを含ませておられるのは神様である。だから、へこたれない。  
そう信じて手にあるものから事を進めます。

しんどいことはしんどいのです。しかし、安易な道にそれることなく、続けて重荷を担って  
歩きます。きっと神様が解決へと導いてくださる。そう信じて歩むのです。

そんな私たちの背中を、次代を担う人たちが見えています。

「こんな時、どのように生きるのか」と興味を持って見えています。どう決断し、どう歩めば  
よいのか分からないからです。だから、喜んだり泣いたり私たちの生涯は、私たちの後に  
生きる人たちへの大切な指標です。私たちの失敗も指標になります。

「ああ、つらい時、このように泣いてもいいのか…。」そんな受け止め方を後輩たちに  
届けることができるなら、私たち、生きてきた甲斐があるのではないのでしょうか。

あちこちで悲しみが起こる現状ですが、この詩をうたいながら進みたいです。

浦上結慈

## 9月例会報告

暦の上では初秋と言えども、実際には真夏を思わせる暑さでの例会となった。

宝塚西公民館にて、京都トウベイクラブの溝口誠氏をスピーカーに、メン 12 名+Zoom1 名、アソシエイト会員 1 名+Zoom2 名、メネット 2 名、ゲスト 5 名、ビジター Zoom3 名を迎え、「長崎と天草地方の潜伏キリスタン関連遺産」についてお話を伺った。

溝口氏は長崎にて生を受け、高校時代までで当地で過ごされ、大学での学業のため、関西に来られた。代々のキリスト教一家の一員として過ごされたが、キリスト教徒という特別な感情は全くなかったとのこと。

日本でのキリスト教布教は、1549 年以降 40 年以上にもわたってイエズス会(ポルトガル)が独占。1585 年、教皇グレゴリウス 13 世は日本での布教をポルトガル王国の布教保護権下にある「イエズス会」のみに許し、他の修道会の布教を禁じた。

「イエズス会」は 1534 年、「モンマルトルの誓い」により設立。「神のより大なる栄光のため」、教皇に「死人のごとき従順」を誓う修道会、即ち教皇の精鋭部隊「自分にとって黒に見えても、教会が白であると宣言するならそれを信じよう」。世界各地へ優秀な宣教師を派遣し、カトリックを広め、「教皇の望むところどこへでも行く」という信条を持っていた。

一方、1209 年スペイン王国で聖フランシスコが設立した「フランシスコ会」:歴代教皇を多数輩出した名門修道会で教皇に直属し「清貧と禁欲」を理想とする。1593 年、初来日し、備前国名護屋で豊臣秀吉に謁見、バテレン追放令より後の日本状況を理解せず派手に布教活動を行う。一方、イエズス会は伴天連追放令のもと、表だった活動を控えていた。

1596 年 7 月、多くの貿易品を積んだスペインのサン・フェリペ号が、四国の土佐沖に漂着。すでに都にいたポルトガル人が「スペイン達は海賊で、日本の征服も考えて、測量に来たんだ!」と言われ、全てを没収されたことに苛立ち、「我々スペインは日本を征服するために、宣教師を送り込んだ! 日本はスペインに征服される!」と言った。このような振舞が秀吉のキリスト教への不信感と恐怖心を煽り怒りを買った。

1597 年、大坂と京のフランシスコ会員及び彼らに従うキリスタンを捕縛し、長崎・西坂の丘まで移送し、26 名(日本人 20 名、スペイン人 4 名、ポルトガル人 1 名)を処刑した。1862 年、教皇ピウス 9 世によって、列聖され聖人の列に加えられた。この「二十六聖人記念碑」は敬虔なカトリック教徒で彫刻家かつ画家の「舟越保武(1912-2002)」によって建立された。また江戸時代幕末の開国後、1864 年(元治元年)大浦天主堂が建立。日本に現存する最古のキリスト教建築物、正式名は「日本二十六聖殉教者聖堂」、殉教地である長崎市西坂に向けて建てられている。

1618 年:幕府は禁教令を全国に広げ、これ以降、明治の禁教令廃止まで 256 年間『潜伏キリスタン』の時代を迎える。



1865 年:信徒発見:信仰の表明と事実上の教会の復帰となり、潜伏状態の終わりを告げる。1871~73 年、岩倉使節団の派遣、禁教令の継続が不可能であることを悟り、1873 年禁教令が廃止され、1880 年浦上天主堂が建立。1945 年原爆投下により、破壊され、1959 年浦上天主堂(3 代目)が完成、現在に至る。

1612~1618:禁教令が發布:潜伏キリストの時代となり、1873 年には禁教令が廃止され、その後は棄教したり、神道や仏教に転宗、教会復帰、即ちローマカトリック教会、そのまま禁教期の信仰を継続「隠れキリスト」として存在し、1960 年頃に約 2~3 万人まで減少しその後、急激に減少、現在「生きた信仰」はごくわずか!とのことである。

現代、我々には「信仰の自由」という権利が保障されている。何という幸せなことであろうか? だが、その「自由」という言葉の意味を十分に考慮する必要性と責任を自覚しつつ、慎重に満喫すると同時に大いに感謝すべきではないだろうか?

各委員会報告、YMCA 報告があり、誕生日の祝をして、定刻に小林会長の閉会点鐘で終わりました。



福田宏子

## 9月第2例会報告

日 時 :2022 年 9 月 21 日(水)18:30~20:30

場 所 :宝塚西公民館

出席者 :青柳、石田、今田、郡家、小林、鯖尻、武田、多胡、長尾、橋本、福田 m、福田h、福家、若林、

### 議題

#### 1. 例会の運営

・10 月 12 日(水) 講師 藪田 恵氏 「チェアエクササイズ」

開会 18:30 宝塚西公民館 会費:¥1,500(食事あり)

・11 月 16 日(水) 『思い出のランドセルギフトプロジェクト』(卓話者は ZOOM で参加)

◇ 卓話者 櫻井啓子さん(東京むかでクラブメネット) 公益財団法人ジョイセフ理事

● 開会 18:30 宝塚西公民館 会費:¥1,500(食事あり)?

● 同時に宝塚市在住のアフガニスタン支援にかかわっておられる西垣敬子さんにはリアルでゲストとしてお願いしてお二人のコラボによるスピーチが可能かを打診する。

(担当 多胡ワイズ)

・クリスマス合同例会について

土佐堀クラブより合同のオファーがあったが日程、会場があわなく来年に持ち越し

各クラブで行う。宝塚クラブはクリスマスキャロルがあるので第 3 水曜日 12 月 21 日に

行う。宝塚ワイズはクリスマス例会の場所を宝塚教会、クリスマスメッセージを浦上牧師に依頼。プログラムとしてアイリッシュハーブ演奏の永野京子さんに打診、以上を多胡ワイズが調整担当

## 2. 各事業報告

1. 六甲部・六甲部会
2. Yサ・ユース:
3. YYY フォーラム 9月10日(日)
4. 余島シニアキャンプ 9月17日(土)～19日(月) 中止
5. 国際・交流ローンボール大会 9月11日(日)

## 3. 今後の予定

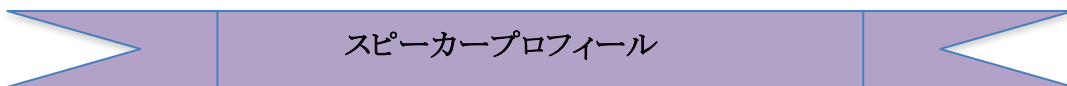
- ・金沢クラブ 75周年記念例会 9月24日(土)
- ・中西部会 10月8日(土)
- ・大阪なかのしまクラブ 11月5日(土)
- ・京都ブラッククラブ チャーターナイト 11月19日(土)

## 4. その他

- 1, じゃがいも事業
  - ・10月1日(土)入荷
- 2, メネット委員

## 5. ブリテン(長尾)

## 6. YMCA 報告(橋本)



### 藪田 恵 (やぶた めぐみ)兵庫県神戸市在住

18歳でデンマーク体操に出会い、現在も愛好しています。  
現在はフリーでグラフィックデザインと運動指導に従事しています。  
体操教室「Skip」主宰 NPO 法人1億人元気運動協会 理事  
資格:健康運動指導士、チェアエクササイズ®インストラクター 他

ホームページ:[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/skipgym/](https://peraichi.com/landing_pages/view/skipgym/)



## 六甲部部長公式訪問

### 西宮クラブ公式訪問

9 月 9 日(金)の例会に参加し、万本敬一ワイズの卓話「パリ印象派の美術」を拝聴させて貰うことになった。会員による卓話シリーズが種切れ(?)になった時は、万本ワイズにバトンが渡るようだ。

この日は、パリ印象派の画家からゴッホの人生を辿りつつ、ルネサンス時代の写実的な画風から、それ以降の絵の具の発達が生み出したに始まり、ゴッホは、絵が売れなくて絵の具をたくさん買えなかった、だから比較的安価な黄色を集中的に使った、の弁に、アートビギナーには目から鱗のようなお話し。

西宮クラブにはほかにも玄人肌の美術愛好家が居られていると知って、伝統あるクラブの異なる側面を知った。食事は、当日のドライバーが手配する箱弁だったが、例会後は近くのお店で仕切り直しが当たり前。宝塚クラブでも昔は馴染みのカラオケに通ったらしいが、西宮は“酒にある交わり”が脈々と続いているようだ。

### 神戸学園都市クラブ公式訪問

9 月 15 日(木)の例会に参加した。「第 1 回学園都市尺八ライブ」というタイトルのオープン例会で、学園都市 YMCA の多目的教室に定員を超える 31 人が集い、ライブのひとつときを楽しんだ。

「尺八」といえば竹細工の木管楽器・虚無僧など古風なイメージだったが、何と、開幕演奏は 4 人の奏者による「アメージング・グレース」だった。奏者は近くにお住まいの先生方らしいが、その内のお一人が杉本会長と同じマンションの居住者で雑談の傍らに今回のイベント話に及んだという。

プログラムは、素人にも親しめるように工夫され、「郷音」(さとね)、「ごうおん」とも読み楽器の基本的な 5 つの音のみを使用の入門曲)、4 人の奏者で独奏・二重奏・合奏と変化する 4 楽章からなる交響曲、イエスタデー・エーデルワイズなどのメドレーが披露された。ポピュラー曲には聴衆もハミングで呼応し、豊かなハーモニーが空間を満たした。このクラブでは尺八ライブは初めてだが、奏者を招くオープン・ライブを重ねてきているという。クラブはバザーや餅つきなど YMCA との協力事業を重視されているらしいが、今回のような地域のタレントを発掘し、地域に開かれたプログラムはワイズならではの取り組みと位置づけ、是非、続けて戴きたいと思う。また、お隣に座っておられたご婦人とも話しが弾み、故今西ワイズのメネット時子さんの友人と分かり、不思議な出合いに感動を覚えた。

これで各クラブ巡回訪問を終えましたが、それぞれのクラブの個性的な活動を見せて戴き、数々の出合いが不思議な縁で繋がっていることを知りました。ワイズが交流を大切にする理由を再発見し、リアルな交流の場を大切にしなければならないと考えました。

六甲部部長 若林成幸

## 京都部部会参加報告

9月3日(土)第27回京都部部会が行われました。今回は若林六甲部部長の代理として参加してきました。

新型コロナウイルス感染予防に注意を払いながら開催されました部会です。ミニ日本区大会といわれる300名を超える素晴らしいリアル部会でした。プログラムは式典に続いて YYY フォーラムが行われました。京都 YMCA の OG,OB から経験談を聞き、キャンペンリーダーから YMCA のスタッフになった方もおられて、ワイズと YMCA 現役リーダーで Y.Y.Y の話が聞けたと思いました。

そして懇親会も久しぶりにリアル有って楽しい交流の時間を持つことが出来ました。



六甲部会計 長尾 亘

## 中部部会、金沢クラブ創立 75 周年記念例会参加報告

ラッキーにもサンダーバードが通常運行の週末、9月24日、金沢ニューグランドホテルで開催された第26回中部部会、金沢クラブ創立75周年記念例会に出席しました。西日本区で3番目に誕生した歴史あるクラブです。

中部部会は3年振りの対面開催で100名近い参加者があり中部6クラブのワイズメンからは忙しい中にも開催出来た喜びが感じられました。

引き続き金沢クラブ75周年記念例会に移り、歴史考証復元画家、末松智氏の興味深い講演がありました。古代遺跡や金沢城二の丸菱櫓を再現する復元画により復元事業の重要な資料とされているとの事。まるで写真の様な精巧な仕上げに一同驚きでした。

舞台は代わって山内ミハル部長のかつての教え子さんグループによる若いフラガール達の華やかなフラが披露されました。金沢市内で最大のフラスクールをお母様と経営され多くの生徒さんを抱える地元では有名なグループです。

会場の男性ワイズメン達を見ると緊張感でいささか固まってる感じ!「若い人のフラを初めて見た」と言うコメントもあり。

その後懇親会のプログラムに載っていないサプライズとして私達ワイズフラガール達がステージに上がった時は客席も完全リラックス状態でステージ一杯一緒に踊って同世代フラを楽しみました。

最後に今期最後の部会、六甲部部会をアピールしてお役目を果たしました。



石田 由美子

## CS 活動コーナー

### 西谷畑での綿つみ

5 月に西谷の畑で綿の種を蒔き綿摘みが 10 月にはできるのではと期待をしながら、その間雑草とりに 1 度行き、あとは自然の成長に任す。というより周辺に植えておられる方々にすっかりおんぶに抱っこ。西谷の畑の土は素晴らしい！我が家で鉢植えをしている綿に比べると雲泥の差。



畑を提供してくださっているアソシエイトの矢部さんから時々送られてくる成長の様子に喜びの顔。10 月の収穫をみんなでしましょうと。10 月 18 日(火)の日程で計画中です。収穫に合わせて BBQ パーティを！是非みなさまご予定ください！

多胡 葉子

## 2022 年度神戸 YMCA YYY フォーラム

### 市ヶ原わいわいハイキング

神戸 YMCA 主催のプログラムとして開催された今年の YYY フォーラム。(YMCA・Y's・Youth) 晴天に恵まれた 9 月 10 日、午前 8 時 45 分に新神戸駅 1 階に集合。参加者は YMCA 関係とワイズ(15 名)の約 30 人(幼児 2 人を含む)宝塚クラブから参加は武田、多胡、若林の 3 ワイズ(若林ワイズは六甲部長として集合場所での挨拶のみの参加)

ロープウェイで山頂へ行く組みとハイキングで山頂を目指す組、山頂で合流する組の 3 班にわかれた。ほとんどがハイキングで山頂目指し生田川沿いのやたらと階段ばかりのハイキングコースを黙々と。途中の滝、貯水池の自然の中の風景の素晴らしさそして休憩地でのスタッフの心配りの冷たい、甘い補給食に感動！目的地の市ヶ原には予定通りの 1 時間半のハイキングで、10 時 30 分に到着。山頂での組みと合流。

市ヶ原に到着して配られた冷えたゼリー、葡萄と蜜柑の美味しかったこと。休憩の後全員輪になり、大野勉ワイズのギターに合わせキャンプソングの斉唱、秀平 YMCA 会員増強委員のゲームの指導で全員大いに交流の輪が広がり楽しいひと時があつという間にすぎ、解散。それぞれ歩いて、ロープウェイで下山するグループ、そのまま河原で楽しむグループなどにわかれた。

野外での YYY フォーラムは初めての試み。自然の中での交流はとても楽しく豊かな気分が味わえる。今回の場所は近場であり、またハイキングでもロープウェイでも車ででも参加できるという配慮がなされていたことはとてもいい企画に思う。参加して得ることのできる豊かさの 1 日だった。

多胡 葉子





### 【YMCA ニュース】

#### 【第 24 回インターナショナル・チャリティーラン 2022】

日 時:2022 年 11 月 23 日(祝・水)10:00~12:30

場 所:しあわせの村 運動広場及びジョギングコース(神戸市北区山田町 総合福祉ゾーン)

競技内容:3.5 kmコース・1.2kmコース ウォーキング or ラン(タイム測定あり)(リアルのみ)

参加費:一人 1,000 円以上

申込方法:QR コード(10/5(水)より広報・募集開始)

協賛金:個人:3,000 円以上、企業、団体:1 口 20,000 円 ※協賛金はすべて「支援金」とする。

#### 《支援金の使い道》

YMCA の通常キャンプでは 8~12 名のグループを構成し、1~2 名のボランティアが指導、援助を行います。しかし、障がいのある子どもたちのキャンプでは安全かつ有意義にプログラムを実施するために、メンバーのニーズに合わせた指導体制がとられます。マンツーマンに近い数のボランティアが必要になることも珍しくありません。チャリティーラン支援金は、このボランティアたちのトレーニング費用や交通費、宿泊費に用いられ、参加者の負担を軽減し、より多くの子どもたちが参加出来るように使われます。

連絡担当 橋本 唯

#### 編集後記

コロナ禍で例会、部会が出来なかった、この2年、ZOOM で時々会っていましたが、昨日、リアルに行われた京都部部会に出席して久しぶりに親しいワイズと話が出来ました。やはり、リアルで会えるのが良いですね！

ブリテン 長尾 亘

